



トラブルシューティング Startup

Pyramix が起動時にフリーズやクラッシュを起こす場合、スプラッシュメッセージにより原因を特定することができる場合があります。

Initializing Virtual Studio

- **MassCore initialization error**

MassCore キーが見つかりません。コントロールパネルの **MT Security Panel** にアクセスし、MassCore 48 (Base)、MassCore 64 (すべての 64 ビット バージョン) があることを確認してください。

コントロール パネル > RTX64 に移動して、MassCore エンジンが実行中かどうかを確認します：Subsystem は稼働している必要があります。

Windows は、MassCore ブート ラインを使用して起動している必要があります。

- **Unable to find MassCore platform or MassCore Ethernet adapter card not found**

MassCore エンジンが実行されている必要があります。コントロール パネル > RTX64 に移動して、Subsystem は稼働している必要があります。

Windows は、MassCore ブート ラインを使用して起動している必要があります。

MassCore ネットワーク カードが存在する必要があります。Windows のデバイス マネージャー > ネットワーク アダプターに移動して、Merging Technologies PCIe 82574L Ethernet コントローラーが、！または？記号なしで存在している必要があります。

ネットワーク ケーブルがカードに接続され、リンクがアクティブになっている必要があります。カード自体の LED がアクティブになっていることを確認してください。

Merging Technologies MassCoreNIC service が実行されている必要があります：Windows の検索フィールドに **Services.msc** と入力し、**Merging Technologies MassCoreNIC service** のステータスを確認してください。

ステータスは「開始」である必要があります（「停止」や「開始中」でないこと）。

- **MassCore Runtime is not properly configured. Configuration updated. Please Reboot the computer**

再起動後もこのメッセージが表示される場合は、[次の章](#)を参照してください。

- **VS3 Manager Interface not present**

Pyramix VS3 エンジンを実行できません。C:\Program Files\Common Files\Merging Technologies\VS3 に移動し、VS3.dll と VS3UI.dll を右クリックして、プロパティにアクセスします。詳細 タブで、ファイル バージョンはインストールした Pyramix バージョンと一致している必要があります（例えば、V11.0 をインストールした場合は 11.0.4.3513）。

バージョンが一致しない場合は、クリーンアップ手順に従って再インストールします。

バージョンが一致する場合は、管理者特権でコマンド プロンプトを開きます（Windows の検索フィールドに cmd と入力し、コマンド プロンプトを右クリック > 管理者として実行）。

次の行を貼り付けます：





regsvr32 "C:\Program Files\Common Files\Merging Technologies\VS3\VS3.dll"

Enter キーを押します。

次に、次の行を貼り付けます：

regsvr32 "C:\Program Files\Common Files\Merging Technologies\VS3\VS3UI.dll"

Enter キーを押します。

Windows は登録が成功したことを返します。

そうでない場合は、support@merging.com にお問い合わせください。

- **CHostASIO:Error: Unable to init ASIO driver "ASIODeviceName" - Failed to attach to ASIO driver**

VS3 コントロール パネルで、示されているドライバー名に関連付けられたデバイスが存在し、コンピュータによって検出されていることを確認します。

通常、情報セクションに 0 のみが表示される場合、デバイスは存在しないか、正しく検出されていません。

Load Effects - loading VS3 Effects

- Pyramix が ハング / フリーズ する
この段階で Pyramix がハングする場合は、Windows がクラシック モードに設定されている可能性があります (Pyramix 11 以降、Windows 7 のみ)。

Initializing Libraries

Mounting folder xxx

- Pyramix は、Global libraries と、Settings > Location > Permanently Mounted Folders リストにリストされているフォルダーをマウントしています。
Pyramix がその状態でハングする場合は、別のウィンドウの背後にエラー メッセージが表示されていないことを確認してください (開いているウィンドウをスクロールするには、ALT + TAB を使用します)。

VST Plugins Scanning / VS3 Plugins Scanning

- 新しい VST プラグインを初めてスキャンする場合、スキャン処理にかなりの時間がかかることがあります。次回 Pyramix を再起動すると、スキャンが速くなります。
- Pyramix がその状態でハングする場合は、別のウィンドウの後ろにエラー メッセージが表示されていないことを確認してください (開いているウィンドウをスクロールするには、ALT + TAB を使用します)。

Illok ドライバー (または VST プラグインに必要なその他の認証デバイス) が最新であることを確認します。

エラー メッセージが表示されない場合は、タスク マネージャー > プロセス (Win7) または詳細 (Win10) に移動し、タスク **VSTPluginScanner.exe** を停止してください。

このタスクは 3 回再起動を試行し、その後 Pyramix は起動を続けます。

Initializing Monitor

- この段階で Pyramix がハングまたはクラッシュする場合、Monitor の設定が壊れています。





MassCore ユーザーは

C:\Users\YourUserName\AppData\Roaming\Merging Technologies\Pyramix\VS3UI

Native ユーザーは

C:\Users\YourUserName\AppData\Roaming\Merging Technologies\Pyramix\Native Audio\VS3UI

にある VS3UIMonitorSettings.pms を消去してください。

Initializing Mixers

- この段階で Pyramix がハングまたはクラッシュする場合、デフォルト Mixer が壊れています。

別の Windows ユーザー アカウントを使用して Pyramix を起動してみてください(起動する前にまず VS3 Control Panel を設定してください。設定はユーザーごとに異なります)。

C:\Program Files\Common Files\Merging Technologies\VS3 の VS3.dll と VS3UI.dll を右クリックして、プロパティにアクセスし、詳細 タブで、ファイル バージョンがインストールした Pyramix のバージョンと一致している必要があります(たとえば、V11.0 をインストールした場合は 11.0.4.3513)。

バージョンが一致しない場合は、クリーンアップ手順に従って再インストールしてください。

Initializing Final Check Metering

- この段階で Pyramix がハングまたはクラッシュする場合は、Final Check Metering 設定が破損している可能性があります。

C:\Users\YourUserName\AppData\Roaming\Merging Technologies\FinalCheckMetering の FinalCheckMetering.pms ファイルを削除してください。

Connect Remote Controller

- Pyramix がこの状態でハングまたはクラッシュする場合は、別のウィンドウの背後にエラー メッセージが表示されていないことを確認してください。

コントローラーが接続されていない場合は、**not detected** (検出されない) というメッセージが表示されます。

コントローラーが正しく接続、設定され、ドライバーが最新であることを確認してください(コントローラーにドライバーが必要な場合)。





MassCore Runtime is not properly configured error message

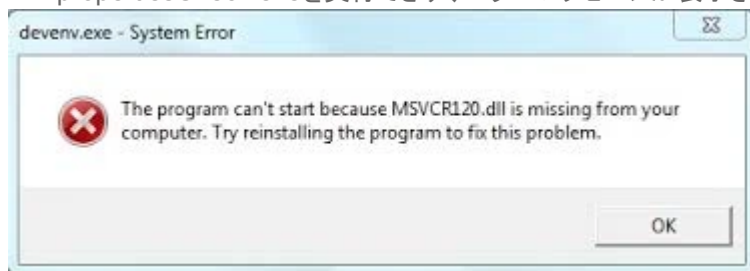
Pyramix は起動時に MassCore の構成をチェックし、パラメータが正しくない場合は間違ったパラメータを自動的に変更しようとします。Pyramix がそのようなパラメータを変更するには、コンピュータの管理者権限が必要です。

再起動後もこのエラー メッセージが表示される場合:

1. [RTXプロパティチェック](#) をダウンロードしてください。
2. Windowsのスタートメニューで、CMDと入力してコマンド ライン プロンプトを見つけます。右クリックして、管理者として実行を 選択します。
3. コマンドラインで、**RTXpropertiesCheck.exe** のファイル パスを入力して実行します。

たとえば、デフォルトのダウンロード フォルダーにダウンロードした場合、**C:\Users\ yourusername \Downloads\RTXPropertiesCheck.exe** になります。または、コマンド ウィンドウに **RTXPropertiesCheck.exe** ファイルをドラッグ アンド ドロップします。

4. RTXpropertiesCheck.exeを実行できず、エラー メッセージが表示される場合:



アーカイブに含まれる **vcredist_x642013** ファイルを実行し、もう一度試してください。

5. 結果が **RTX64 properties valid** の場合、Pyramix は MassCore モードで起動できるはずです。
6. 結果が **RTX64 properties non valid** の場合:

```
Administrator: Command Prompt
Microsoft Windows [Version 10.0.16299.248]
(c) 2017 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\>RTXPropertiesCheck.exe
bBootStartOK = 1
dwPeriod = 10 should be 10 ; see SYSTEM\CurrentControlSet\Control\RTX64\HalTimerPeriod
dwLocalMemory = 0 should be 1 ; see SYSTEM\CurrentControlSet\Control\RTX64\EnableLocalMemory
dwEnterDebuggerOnException = 2 should be 2 ; see SYSTEM\CurrentControlSet\Control\RTX64\EnterDebuggerOnException
=====
RTX64 properties non valid
C:\>
```

- **dwPeriod = 100** の場合は **10** になります。
 - コントロールパネル / RTX64/Configure the RTSS Subsystem/Change internal system behavior/ を開きます。
 - HAL Timer Period (microsedonds)を編集します : **10**







IntervalZero RTX64 2014 with Service Pack 1
Change Internal System Behavior

RTX64 Home > **Configure the RTSS Subsystem** > Change Internal System Behavior

Change the startup type Automatic

Change the HAL Timer Period (microseconds) 10

Change the default thread time quantum (milliseconds) used by the Subsystem 0

☐ Free the stack on TerminateThread call

☒ Use priority inversion

- **dwLocalMemory = 0** の場合は1 になります。
 - コントロールパネル /RTX64/Configure the RTSS Subsystem/Change memory allocation behavior に移動します。
 - Set the default memory allocation を Request from local memory pool (deterministic) に設定します。

RTX64 Home > Configure the RTSS Subsystem > Configure Memory Allocation Behavior

Set the default behavior for Subsystem and application memory allocation:

☐ Request from Windows (non-deterministic)

☒ Request from local memory pool (deterministic)

- **dwEnterDebuggerOnException = 0** の場合は 2 になります。
 - レジストリエディタ(Regedit.exe)に移動し、
 - RTX64フォルダ内(Computer\HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\RTX 64)
 - EnterDebuggerOnExceptionを編集します:2





Registry Editor

File Edit View Favorites Help

Keyboard Layout Keyboard Layouts

Name Type Data

(Default) REG_SZ (value not set)

stException REG_DWORD 0x00000000 (0)

Exception REG_SZ 2696

Exception REG_DWORD 0x00000001 (1)

um REG_DWORD 0x00000000 (0)

hings REG_DWORD 0x00000000 (0)

ryExpand REG_DWORD 0x00000000 (0)

ryShrink REG_DWORD 0x00000000 (0)

REG_BINARY ff fe 18 f2 a3 5f f4

REG_DWORD 0x00000000 (0)

Enablespeedstep REG_DWORD 0x00000001 (1)

EnhancedSpeedStepSupportFeature REG_DWORD 0x00000003 (3)

EnterDebuggerOnException REG_DWORD 0x00000002 (2)

Edit DWORD (32-bit) Value

Value name: EnterDebuggerOnException

Value data: 2

Base

☒ Hexadecimal

☐ Decimal

OK Cancel

- 変更を適用するには、コンピューターを再起動する必要があります。

問題が解決しない場合は、**RTXpropertiesCheck.exe** コマンドプロンプトのスクリーンショットを撮り、support@merging.com にお問い合わせください。

